

研究会企画案：成田地域の将来発展ビジョンの立案

工学系研究科 都市工学専攻

国際都市計画・地域計画（大西・城所）研究室

助教 片山健介

E-mail: kenkata@urban.t.u-tokyo.ac.jp

背景

グローバル化と都市間競争、人口減少・高齢化社会の到来、地方分権の推進、生活圏の広域化、市町村合併の進展など、都市を取り巻く環境は変化してきている。都市計画においても、結び付きの強い地域を一体的・広域的に捉え、経済・社会・環境のバランスに配慮して将来のあり方を考えていくことが求められている。

本研究会で対象とする千葉県・成田地域（成田市、富里市、栄町、神崎町、多古町、芝山町からなる圏域とする）は、成田空港を有する成田市を中心都市として一体的な生活圏が形成されている。周知のように、首都圏空港として成田国際空港と羽田国際空港の役割分担について議論がなされている。成田地域では、都市圏ビジョンがないために空港を活かしきれていなかったという問題認識のもと、活力ある国際空港都市づくりに向けた広域的な議論が始まっており、多様な視点・立場からの意見や提案が期待されているところである。

目的

本研究会では、以上の背景を踏まえて、成田地域の将来発展ビジョンを立案する。

- 1．成田地域の首都圏における位置づけ、成田地域のもつ地域特性、将来人口予測等を踏まえ、成田地域における将来発展ビジョンを立案する。
- 2．将来発展ビジョンを実現するための方策を検討する。地域の持つ資源、都市圏における各市町の役割と相互補完、成田国際空港と地域との双方向の関係性、広域行政・広域計画の制度的枠組み等について考察する。

キーワード：都市圏戦略、国際空港、産業・商業振興、観光、市町村合併

研究会のねらい

- 1．広域的な都市圏戦略を描く

日本には都市圏計画の制度的枠組みが存在しないため、実際の地域・検討状況に即して広域的な都市圏戦略を検討できる貴重な機会である。都市工学科学部演習との関係では、東京圏の広域計画演習と都市基本計画演習の中間に位置する空間スケールであり、日本では平成の大合併によってこのスケールの新市域において地域づくりが検討されていることから最新のテーマである。

- 2．多様な視点からの議論・研究

地域将来ビジョンの検討は、都市計画にとどまらない広範な内容の議論が必要とされる。成田地域は言うまでもなく成田空港をどのように位置づけるかが重要である。国際的なゲートウェイとしての機能、空港関連産業、空港施設の活用、成田空港利用者を地域にどのように呼び込むか、広域観光施策などの検討が考えられる。同時に、地域が成田空港を如何によくしていくか、という双方向の関係性も考えるべきであろう。さらに、地域戦略を描き実現していくためのローカル・ガバナンス、広域計画を実現していくための広域行政の枠組みのあり方、東京大都市圏における空港の役割分担など、多様な論点を交えて取り組む。

進め方（案）（概ね2週間に1回を想定。グループ・ワークは平成20年度内に成果物をまとめる予定）

1．成田地域の地域特性の把握

- ・GIS データや資料をもとに、成田地域の首都圏における位置づけ、地域特性を把握する。
- ・千葉県、2市4町の担当の方から、成田地域における広域的な取り組みの経緯と現状、空港関連構想・施策等についてレクチャーを受ける。【6月4日（水）13:00～14:30に学部演習と合同開催の方向で調整中】
- ・フィールド・ワーク：成田地域の観光資源や商業地域等をバス等で視察。県・市町職員の方との合宿形式を想定している。【6月13日（金）～14日（土）に学部演習と合同開催の方向で調整中】

2．論点の整理

- ・成田地域の将来ビジョンを検討する上で議論すべき論点を整理する。
- ・それぞれの論点に応じた文献調査を行う。

例）空港を活用した地域づくりの国内外事例 / 産業立地論 / 広域行政・広域計画、市町村合併と地域振興

3．諸外国の国際空港都市づくりの事例研究

- ・留学生の出身国をはじめとした諸外国の国際空港都市づくりについて調べて発表する。（例えば、留学生と日本人学生がペアになって行う。）

4．将来発展ビジョンの検討

- ・成田地域の首都圏・千葉県における広域的な位置づけ、都市圏構造（成田市と1市4町の関係性）に注目しつつ、将来発展ビジョン（大まかな将来都市圏構造）を検討する。

中間発表会（パワーポイント＋資料）

5．将来ビジョン実現に向けた方策の検討

- ・広域的な土地利用、首都圏国際空港の役割分担、広域交通基盤、産業・商業立地、観光、将来人口構造と都市圏構造、行財政、広域行政など、各自関心のあるテーマ別に掘り下げる。
- ・NAA、県および関係市町、商工会議所などの方々へのインタビュー調査、意見交換会を実施。
- ・人数によっては、複数の将来発展シナリオを想定し、異なるビジョンが出てきてもよいかもしれない。最終成果物「成田地域将来ビジョン（将来都市圏戦略図＋文章）」をまとめる。

千葉県・関連市町の方にプレゼンテーション？

メンバー

- ・都市工学専攻の大学院生と公共政策大学院の大学院生の合同開催を想定。
- ・関係市町の若手職員の方にも参加していただく。

特徴

- ・グループワークを通じて成田地域の将来ビジョンを提案することを主軸とするが、「進め方」2．や5．に関連して、当該地域をフィールドに参加者各自が関心のあるテーマを設定して深めていくことも可能である。
- ・実際に千葉県・関連市町で検討されているテーマであるので、（成果次第ではあるが）実際の議論にフィードバックされる可能性がある。
- ・都市工学専攻と公共政策大学院の学生が共同で取り組むので、様々な視点からの議論が期待される。

以上